

第6回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月15日（火）

17時00分から17時25分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

18時00分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。
(資料を基に説明)
- 今後の会議について報告。
次回の本部員会議は、明日（10/16（水））9時を予定。

【各本部員等】

- 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。
 - ・ 政策地域部長
三陸鉄道の関係について資料9ページのとおり甚大な被害となっているところ。
本日13時半からリアス線の被害状況に関する記者会見を開催。被害状況の写真もつけて公表。県議会からの要請があり、三陸鉄道の被害状況の資料については提供済。
 - ・ 環境生活部
水道施設の被害状況については、資料に記載のとおり。
 - ・ 保健福祉部長
孤立していた福祉施設については、孤立解消したところ。児童福祉施設について、被害状況の報告があったところであるが、甚大な被害はないものと認識。
宮城県へのDMAT派遣について、岩手医科大学附属病院、岩手県立中央病院、岩手県立磐井病院、岩手県立胆沢病院の4チームが宮城県仙南医療圏の避難所等で活動中。
福島県へのDMATロジスティックチーム派遣については、岩手医科大学チームが本日より活動中。
釜石市でボランティアセンターが開設。順次、各沿岸市町村でそれぞれの市町村社協が主体となり、ボランティアセンターの設置を進めていくこととなっている。
被害の少なかった内陸部の社協はそれぞれの支援にあたるということで調整中。
 - ・ 商工労働観光部長
被害状況については、市町村を通じて調査中。また、被害額についても精査中。

観光施設の主な被害状況として、山田町の船越家族旅行村のオートキャンプ場キャンプサイトの敷地が崩落。また、県管理施設のジャブジャブプールに土砂が流入している状況。

被災した中小企業者への支援については、災害救助法が適用された市の商工会議所や商工会連合会、信用保証協会、よろず資金拠点などに特別相談窓口が設置されている。

・農林水産部長

農業分野について、ブロイラーの一関市分の被害が明らかになり、県内で計58,000羽ほどがへい死。

林業については、林道の法面崩壊、路盤流出の箇所数は97か所となっている。

水産関係については、破損、転覆の漁船が30隻、ふ化場の被害が3か所となり、特に重茂のふ化場については施設にダメージがある状況。

漁港関係については、消波ブロック等の外郭施設の破損が3か所。また、ケーソン等のズレも目視で確認しており、相当の被害額と時間を要するものとなっている。

対応状況について、必要な農業関係の情報を提供するとともに、被害を受けた農林漁業者の経営相談窓口を県内33公所に設置。

・県土整備部長

県道の全面通行止めについては変化なし。

土砂災害発生件数について5か所が確認中であり、全箇所の情報収集に至っていない。

公共土木施設被災状況については、県管理施設が103か所、市町村管理施設が316か所だが、調査率30%であり、随時調査結果を公表していく。

工種別の被災状況は、道路の被災状況が際立っている状況。

下水道関係では、野田村の野田浄化センターと山田町の前須賀ポンプ場で機能停止となっているが、住家の方は使用可能。流末で溜まった場合は臨時のポンプ処理を行う予定。

・教育長

15日の休校状況は11校。明日16日は、小中学校、特別支援学校でそれぞれ1校ずつとなっており、それぞれ重茂小中学校、宮古恵風支援学校。

午前授業は、田老第一小学校と中学校となっている。

沿岸部の子どもたちの家庭でも床上床下浸水があり、心のケア等の対応が必要なであれば、要請に応じて支援する体制としている。

・企業局長

新浄水場建設関係において被害有としているが、建設予定地から隣地への倒木が発生したことであり、工業用水道施設そのものの被害はない。

電気事業については、北ノ又水力発電所が被害有としているが、管理用道路の崩落

によって車両が通行できない状況を示している。

北ノ又第三については、被害なしとの報告があったため運転を再開。

・陸上自衛隊岩手駐屯地

昨日現場を確認し、普代村と山田町の道路啓開について現地町村長と連携して必要な部隊を増員する。

生活支援のニーズが高まるため、給水や入浴支援について対応していく。

・沿岸広域振興局長

社会福祉協議会におけるボランティアセンターは、宮古市が本日設置、山田町は明日設置、岩泉町は平成28年台風第10号の際に作ったボランティアセンターが現在も稼働している状況。

先日の釜石市に引き続き、宮古市と山田町の被災地を視察。昨日視察した佐須地区は水道が仮復旧している状況。また、宮古市の白浜地区についても道路の啓開が進んでいる状況。

・県北広域振興局長

久慈市の宇部地区における水道断水は、復旧まであと1週間程度かかる見込み。

現在、陸上自衛隊による入浴支援、航空自衛艇による給水支援をいただいております。感謝申し上げます。

【総合防災室長】

- 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

【盛岡地方气象台】

- 今後の気象予報について報告。

(土曜日に天気が崩れる見込み)

【達増本部長（知事）】

本部員として、陸上自衛隊、盛岡地方气象台、東北地方整備局、航空自衛隊、岩手県警、NTT、東北電力、KDDI、総務省、東北総合通信局、経済産業省のリエゾンの皆さんにも御参加いただき、感謝申し上げます。

発災から4日目となり、避難所、避難者数は大幅に減少してきているが、実質的には避難者で支援を必要としている方がいらっしゃることは確認できていると思う。

停電の解消は非常に助かる。東北電力をはじめ、関係各所に御礼申し上げます。

一方、断水があるということで、様々御支援をいただいているが、引き続き解消に向けた努力をしていきたいと思います。

孤立も解消とのことだが、交通アクセス等不十分地域という形で支援を要するところが

ある。

農林水産関係の被害が明らかになってきており、県土整備関係も被害が大きくあることが明らかになってきている。また、三陸鉄道も非常に大きな被害が出ている。

これらについては、ある程度まとまった段階で国に対する要望を考えている。被災者支援と災害対策に関する基本的な部分も含めて、大きな被害が出ている分野を中心に国への要望の調整をしていきたいと考えているので、被害の取りまとめや要望事項の整理を進めてもらいたい。

他県への応援については、医療などの専門分野やヘリのような専門的な装備について応援に回せる部分は応援に回して、日本全国大きな被害を受けているが、特に、宮城県や福島県の被害が大きいので、同じ東北同士助け合っていきましょう。

マンパワーが必要な部分が多い中、陸上自衛隊におかれては増員し、航空自衛隊とともに生活支援をしてくださるということで大変ありがたく、よろしくお願ひしたい。

内陸の市町村や社協など、当該市町村や市長会、町村会とも調整しながら、マンパワー不足を県内の的に補える部分は補っていきましょう。

そういう意味でボランティア受け入れ態勢が整ってきていることは非常によいことであり、県としてもそれぞれ釜石市、宮古市、山田町、岩泉町に対して県内からのボランティアを県としても呼びかけていきたい。

それぞれ被害状況の把握、その対策を関係部局で進めていると思うので、被災者の命、安全と健康を守ることを第一に、被災者と被災市町村のニーズに沿って、関係機関と連携を図りながら復旧・復興に向けた取組を進めていきましょう。

18時25分閉会

※ 第7回本部員会議は10/16（水）9：00を予定